

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	29	学 校 名	富士宮西高等学校	校 長 名	鈴木 邦浩
------	----	-------	----------	-------	-------

1 スクール・ミッション

富士宮市を代表する全日制普通科高校として、卒業後は大学等への進学によるさらなる高みを臨む生徒に対し、伝統ある校訓「志尚～知を求め 他を思いやり 躍進せよ～」を令和時代に合わせて読み解き、「自分で考え、主体的に行動する力(=Agency)」と「多様な価値観を理解し、課題を多面的に見る力(=Diversity of perspectives)」を培う 教育を推進することで、将来地域のリーダーとして活躍し、世界に向けて富士・富士宮 を発信できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
富士宮西高校では、将来地域リーダーとして活躍する人を目指し、このような力を育てます。(1) 自分で考え、主体的に行動する力 (2) 多様な価値観を理解し、課題を多面的に見る力 (3) 郷土を理解し、世界に富士・富士宮を発信できる力	本校のグラデュエーション・ポリシーに向けて、このような学びを展開します。(1) 生徒の知的好奇心に応え、主体性と探究心を尊重する。(2) 知・徳・体及び感性をバランスよく育み、豊かな人間性を培う。(3) 自己肯定感と社会課題への関心を高める。	本校での学びに向き合うために、このような資質を持った人を受け入れます。(1) 知的好奇心があり、目的意識を持って学習に臨むことができる人 (2) 思いやり深く、協調性が高い人 (3) 地域や社会への関心が高く、何事にも積極的に取り組む人

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 知・徳・体及び感性をバランス良く持った生徒を育成する。
- イ 目的意識を持った自立した学習者を育成する。
- ウ キャリア教育を推進し、主体的に将来設計を行うことができる生徒を育成する。
- エ 部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性を持つ生徒を育成する。
- オ 保護者・地域等から信頼される教育環境を整備する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	知・徳・体及び感性をバランス良く持った生徒を育成する。	【規範意識】 - 教職員の生徒への声かけ、生徒会活動等を通して、あいさつの励行、時間を守り、端正な服装を指導する。 - 人権教育を推進し、人権を尊重する態度を育てる。 - 社会に興味・関心をもたせ、主権者としての自覚を持つことを促す。 - 情報モラルを育成する。 - 校内外の清掃・美化活動を徹底する。	「服装・頭髪・時間厳守など学校生活の規律・秩序は保たれている」と答える生徒90%以上。 「学校生活のルールや日常生活のマナー等の指導が適切に行われている。」と答える保護者90%以上。 - 投票に行った生徒55%以上。 - 授業等で情報モラルに関する指導をする。 「校内の環境美化・衛生管理や健康に関する指導に取り組んでいる」と答える保護者85%以上。	学務部 生活部

様式第1号

		【教育相談】 ・学年主任者会を定期的に開催し、生徒指導・生徒支援の充実を図る。 ・いじめや特別な支援を必要とする生徒に対して、必要な情報の共有を行って全教職員で対応する。 ・外部人材を活用し、カウンセリング体制を強化する。	・「子どもは、明るく楽しく学校生活を送っている」と答える保護者90%以上。 ・「学校は、子どもに関する悩みの相談に応じてくれる」と答える保護者80%以上。 ・いじめ重大事案ゼロを目指す。	生活部
		【保護者との連携】 ・生徒個々の問題に対しては情報や認識をそれぞれの家庭と共有し対応する。	・「学校からの連絡・情報は家庭に伝わっている」と答える保護者85%以上。	学年
イ	目的意識を持った自立した学習者を育成する。	【授業】 ・5つの力を発揮することを意図した学習過程を授業に取り入れる。 ・校内研修や授業評価を行う。 ・各教科の課題の与え方を工夫する。 ・生徒一人一台端末を効果的に活用した授業展開をする。	・5つの力を発揮する授業研究を行った教員100%。 ・「授業に対し、おおむね充実して取り組んでいる」と答える生徒90%以上。 ・「話し合い等、主体的、能動的に活動する場を設けている授業である」と答える生徒90%以上。 ・「学習しやすい環境にある」と答える生徒85%以上。 ・学期に1回以上、一人一台端末の活用についての研修や情報提供を行う。	学務部 総務部
		【個に応じた指導】 ・学習に困難を感じる生徒に対して丁寧な指導を行う。 ・生徒の学力を効果的に向上できるような補講等の内容と方法を工夫する。	・「先生方は、質問や相談に丁寧に応じてくれる」と答える生徒90%以上。 ・「補講、勉強会、個別進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立っていると答える保護者80%以上。	学務部
		【現状分析】 ・「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツール等の結果を分析し、生徒の学力を把握する。 ・家庭での生活時間調査により生徒個々の家庭学習の状況を把握する。	・学力に関する検討会を学期に1回以上実施。 ・家庭での生活実態調査を年3回以上実施する。 ・各学年で計画的に家庭学習をするように指導する。	学務部 学年
ウ	キャリア教育を推進し、主体的に将来設計を行うことができる生徒を育成する。	【総合的な探究の時間】 ・探究学習を組織的に推進する。 ・地域の各主体と連携するとともに地域の教育資源を活用する。	・学務部を中心として月に1回以上情報共有及び検討する。 ・1・2年生の生徒全員が年に1回以上学習成果を発表する。 ・企業・自治体・NPO等、地域との連携3件以上、地域人材等との連携5人以上。	学務部
		【地域貢献・連携】 ・社会力と社会性の向上を図るため、社会貢献活動・ボランティア活動を推進する。	・生徒が年1回以上社会貢献活動・ボランティア活動に参加する。 ・地域防災訓練参加率65%以上。	学務部 生活部 総務部
		【読書指導】 ・文化・教養力を高めるため、朝読書、ビブリオバトルを実施する。	・平均年間読書冊数9冊以上。 ・生徒全員がビブリオバトルに参加する。	総務部

様式第1号

		【進路指導】 ・国公立大学及び難関私立大学合格率の一定水準を維持する。 ・資格試験・検定試験に関する指導を充実するとともに、生徒の能力・可能性を十分に引き出し、受験・合格することにより進路選択の幅の拡大を図る。 ・大学・専門学校等に関する情報収集及びその対策に取り組む。	・国公立大学及び難関私立大学合格者35%以上。 ・英検2級合格者35人以上。 ・「適性・進路などに応じて選べる類型や選択科目がある」と答える生徒90%以上。 ・「進路指導は、進路選択に役立つものになっている」と答える生徒85%以上。 ・「進路行事や担任による個別面談等、進路指導は適切かつ効果的に行われている」と答える保護者80%以上。	学務部 学年
エ	部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性を持つ生徒を育成する。	【学校行事】 ・学校行事通して、生徒の主体性を育む。	・「学校行事に満足している」と答える生徒85%以上。 ・「子どもは、学校行事に意欲的に参加している」と答える保護者90%以上。	学務部
		【部活動】 ・生徒の活動状況を把握し、適切な指導・支援を行うとともに、活動の効率化を重視して学習との両立ができるよう配慮する。 ・外部指導者の活用を図る。	・「部活動への参加により、学校生活を充実させることができている。」と答える生徒80%以上。	生活部
		【広報】 ・中学生に対し、本校の教育活動について積極的に発信する。	・HPだけでなくSNSにおける情報発信の体制を確立する。 ・最新の情報を更新する。	総務部 学務部
		【安全教育】 ・各教科において、「安全教育計画」に従って指導する。	・年に1回以上安全教育に関する授業を「安全教育計画」に示された教科で行う。	生活部
		【不祥事根絶】 ・教職員の不祥事根絶意識を高めるコンプライアンス研修を行う。	・教職員の不祥事件数ゼロ。	全職員
		【施設・設備】 ・安全点検の徹底及び不備箇所の早期改修を図る。	・「教育環境の面から見て、施設・設備は整備されている」と答える保護者80%以上。	事務室
		【会計処理・物品管理】 ・適正な財務会計処理及び物品管理を行う。	・監査及び会計・物品事務指導検査における指摘件数ゼロ。	事務室
		【業務改善】 ・業務改善を行い、教職員の多忙化解消を図る。	・部活動のあり方を検討する。 ・分掌組織のスリム化及び業務を見直し、業務の平準化を行う。	全職員